

=私たちの活動 4つの柱=  
 \*制度化と指導員の身分保障  
 \*専門性と仕事の確立  
 \*父母と共に学童保育運動の発展  
 \*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会  
**ニュース学童保育**

2021. 1 0. 4.  
 NO. 78  
 全日本建設交運一般労働組合  
 全国学童保育部会 発行  
 編集：事務局

**学童保育ネット署名  
 スタート**

政府に対するコロナ感染拡大防止の緊急要請として、ネット署名がスタートしました。  
 各組織で、積極的に取り組みを進め、第1次として、11月4日の厚生労働省交渉に提出をします。実態や要求を書き込むことができます。みなさんたちの率直な声を寄せてください。

組織内はもちろん、保護者会、連絡協議会、県本部、家族、友人・知人など、拡散しましょう。



メール、ライン、ツイッターなど、活用しよう。  
 左のQRコードから、入れます。さっそく、やってみましょう!!

参加者からは「国が示している運営指針は、望ましい方向を示しているだけで規制が弱い。そこを厳し

「今いる指導員が、働きつつけられる制度にするための確保が必要。」  
 「専用のトイレがない。普段から不自由な生活と

○11月4日(木) 厚生労働省交渉  
 ○11月14日(日) 9時半 指定管理者制度対策会議  
 ○11月24日(水) 20時 補助金学習会



く批判する必要がある」  
 「単独施設という要求だけでは、箱モノになっ  
 てしまう。  
 外遊びの空間などの記述も必要で  
 れます。  
 署名は要請項目を再考することとなりました。  
 また、当面、以下の日程で各種取り組みが行われます。

9月19日(日)にオンラインで今年度の総会を開催しました。  
 中央本部執行委員長、部会役員含めて42人が参加しました。  
 総会開催にあたり、角田中央執行委員長は「学  
 童保育所の最低基準を作らせることが見えてきた状況まで来ている。その実現には、政権交代が必須。選挙に行つて政権を変えよう、という議論をぜひ進めてほしい」と激励されました。  
 総会では、その最低基準を作らせる運動の具体的な武器となる署名の要請項目、その学習資料、

**42人参加、  
 基準の要求、  
 議論、  
 全国部会総会、  
 制度・基準を前進させよう**

**選挙にいこう、政治を変えよう**

11月に衆議院選挙が行われます。政権が代われれば、学童保育も充実します。  
 ○雑誌建交労などで、政治課題を学習しよう。  
 ○「今の政治をどう思う？」を議論しよう。  
 ○学童保育の制度を、こうしてほしいという要求を語りあおう  
 ○みんなが選挙に行くことを確認しようめよう。  
 ○野党共闘の候補者を押し上げるために奮闘しよう